

2020 年度教育研究活動報告用紙(様式9)

氏名	安藤 愛	職名	助教	学位	修士(看護学)(福岡県立大学 2017年)
----	------	----	----	----	-----------------------

研究分野	研究内容のキーワード
看護学	ストレングス 精神科病棟 精神科看護 継続

研究課題
精神科看護の臨床現場におけるストレングスモデルの活用・継続に向けた課題の明確化

担当授業科目
精神看護学演習、看護技術論 (前期)(看護学科) 精神看護方法論、精神看護学実習、看護学 (後期)(看護学科)

授業を行う上で工夫した事項(※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【 精神看護学演習 】</p> <p>コロナ感染症により遠隔授業を行った。主に、実習に向けてペーパーペイシェントによる看護展開とプロセスレコードを活用した自己の対話の振り返り方法の伝授を主に行った。授業の中で自分の行ったアセスメントを発表する時間を設け、他学生との意見や考えの共有、意見交換ができるよう具体的な質問や進行を心がけた。また、授業の中で個人ワークの時間を設け、解説を参考に自分の行ったアセスメントを追加修正することで思考の整理を促した。配布資料の内容は、具体的にすることで復習しやすいように配慮した。毎年、実際の看護がイメージできるように臨床指導者にも演習に参加していただいていたが、本年度はコロナ感染症の影響により臨床指導者の参加は叶わなかった。そのため、臨床現場や精神科看護師の関わりがイメージできるように DVD などの教材を活用した。また、学生が事例の展開を行う過程で患者の気持ちを考え、成育歴や生活歴を踏まえたアセスメントが行えるように具体的な問いかけや解説を心がけた。</p>
<p>授業科目名【 精神看護方法論 】</p> <p>「パーソナリティ障害」「大人の発達障害」「強迫性障害」「適応障害」「身体合併症」をもつ人の看護を担当した。患者の苦痛や生活のしづらさがイメージしやすいように DVD や本を活用し、学生へ患者の思いに関する問いかけを行うように心がけた。また、特に現代社会で問題になっている事柄や病院での実際の状況などを伝え、自分の身近な問題として興味関心をもてるように工夫した。</p>
<p>授業科目名【 精神看護学実習 】</p> <p>コロナ感染症の拡大や緊急事態宣言に伴い、臨床における実習が中止となり学内実習を行うことが多かった。臨地実習では、朝・昼・夕の検温、手指消毒・手洗の徹底、アルコールによる物品消毒などの感染予防をしっかり行った。学生が自分の傾向と向き合い受け持ち患者と関係性を築き、患者の希望や思いを尊重した看護計画の立案・実施ができるよう学生の理解度に応じた問いかけを心がけた。学内実習では、臨地実習と同様の流れにし、教員の作成したカルテをもとに事例展開を行った。教員が患者役を行い、看護計画の立案までの3-4 日間は毎日対話を行った。その際に、自己の対話の傾向を認識できるようにフィードバックを行っていった。また、精神科病院の様子がわかるように DVD や写真の活用、臨床での具体的な事例を話すことを心がけた。</p>

<p>授業科目名【 看護学 】</p> <p>看護学は、栄養学科の学生を対象とした選択科目である。精神看護学の 2 コマを担当した。精神科のことを学ぶ機会がなかった学生が多かったため病院や病棟のイメージが少しでもつくように精神科の特徴から説明を行った。また、管理栄養士として関わる事の多い状況や看護師との連携について、臨床での事例を伝えながら説明を行った。疾患については、統合失調症中心に行った。栄養指導に関する文献を活用し、精神科における栄養指導の問題や今後の課題について考えられるように工夫した。</p>
<p>授業科目名【 看護技術論 】</p> <p>ベッドメイキングの演習では、技術の重要なポイントをおさえながら指導した。コロナ感染症予防のため、こまめな手指消毒や換気を促しながら実施した。1 年生は、入学当初から遠隔授業であったため学生同士の対面での関わりがほとんどなく、緊張していたため教員から声をかけ、学生同士で考えることができるように工夫した。患者が臥床している場合のシーツ交換では、患者役は人形で行った。患者としてイメージできるように観察の必要性や配慮についても説明を行った。</p>

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
福岡県看護協会会員		2014 年 4 月～現在に至る
日本教師学学会会員		2015 年 1 月～現在に至る
日本精神科看護協会会員		2017 年 4 月～現在に至る
日本精神保健看護学会		2017 年 4 月～現在に至る
日本看護科学学会会員		2017 年 4 月～現在に至る
PAS セルフケアセラピィ看護学会		2020 年 11 月～現在に至る

2020 年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文)				
(翻訳)				
(学会発表)				教育研究業績 総数総数 (2021.3.31現在) 著書：3 (内訳：共3) 学術論文：2 (内訳：共2) 学会発表：3 (内訳：共3)

外部資金 (科学研究費補助金等) 導入状況 (本学共同研究費を含む)			
(1) 共 同 研 究			
研 究 題 目	交付団体	研 究 者 ○代表者 () 内は学外者	交付決定額 (単位：円)
なし			

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(2) 個人研究

研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
なし			

社会における活動等

団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期等
第30回日本精神保健看護学会学術集会	編集副委員長	2018年12月3日～2020年6月14日
福岡県精神看護専門看護師活動促進協議会	会員	2017年3月～現在に至る
PAS セルフケアセラピィ看護学会 第4回大会	大会事務局	2020年12月17日～2021年9月5日

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

1年生アドバイザー (2020年4月～2021年3月31日)
